

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	左上大静脈遺残に関連する心房頻拍へのパルスフィールドアブレーションの有効性
所属科*	循環器内科
研究責任者*	小林 紀之
研究実施期間	開始 西暦 2025 年 4 月 6 日 ~ 終了 西暦 2025 年 4 月 9 日
対象疾患(予定症例数)	(1 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2025 年 4 月 6 日 ~ 至 西暦 2025 年 4 月 9 日
研究概要*	51 歳男性。症候性発作性心房細動に対しカテーテルアブレーション目的で紹介。術前 CT にて遺残左上大静脈 (PLSVC) が確認された。深い鎮静下にアブレーションを施行した。洞調律下に PulseSelect™カテーテルを用いて肺静脈隔離 (PVI) を左上→左下→右上→右下の順で施行中、左下肺静脈の通電時に持続性心房頻拍 (AT) が出現した。PVI を完遂後、AT の詳細評価を実施し、左房と PLSVC を含む macro-reentry 回路と診断された。PLSVC 内に PFA を施行し AT は停止した。その後の誘発試験で不整脈は再現されず、経過中も再発は認めなかった。PLSVC に関連する AT に対しパルスフィールドアブレーションが有効であったためその報告を行う。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院

* 記入必須項目